



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 大王製紙株式会社

上場取引所 東

コード番号 3880 URL <https://www.daio-paper.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役 社長執行役員（氏名）若林 頼房

問合せ先責任者（役職名）経理部長

（氏名）張能 太子

（TEL）03 - 6856 - 7500

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	158,233	△4.8	2,098	6.8	144	△93.0	335	—
2025年3月期第1四半期	166,263	2.6	1,965	△29.3	2,051	△23.1	△1,083	—

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 △6,991百万円（－％） 2025年3月期第1四半期 4,738百万円（△22.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	2.02	—
2025年3月期第1四半期	△6.51	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	853,210	241,897	26.8
2025年3月期	886,066	249,713	26.7

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 228,771百万円 2025年3月期 236,720百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	7.00	—	7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	325,000	△2.6	6,500	75.3	2,500	187.1	0	—	0.00
通期	670,000	0.2	22,000	124.3	14,000	209.0	5,000	—	30.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名)

除外 1社 (社名) エリエール・インターナショナル・ターキー・キシセル・バクム・ウルンレリ・ウレティムA.S.

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	169,012,926株	2025年3月期	169,012,926株
2026年3月期1Q	2,595,796株	2025年3月期	2,596,936株
2026年3月期1Q	166,416,657株	2025年3月期1Q	166,371,822株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、取締役及び従業員向け株式交付信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 決算補足説明資料は、下記当社ウェブサイトに掲載を予定しています。

https://www.daio-paper.co.jp/ir/ir_news/

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、経営理念「世界中の人々へ やさしい未来をつむぐ」の実現に向け、2035年をターゲットとする長期ビジョン「Daio Group Transformation 2035」を策定し、2024年度～2026年度を対象期間とする第5次中期事業計画において、「営業キャッシュ・フロー創出力強化」「将来成長のための厳選した投資の実行」「財務基盤の強化」をテーマに掲げ、経営基盤の再構築に向けて各施策を実行しています。

当第1四半期連結累計期間の連結業績については、売上高はホーム&パーソナルケア国内事業における付加価値商品の販売伸長や価格改定の浸透等のプラス要因があったものの、紙・板紙事業における価格改定に伴う販売数量の減少やホーム&パーソナルケア海外事業における流通在庫の圧縮、為替換算影響等のマイナス要因があったことで全体としては減収となりました。営業利益は価格改定の浸透や為替影響を含む原燃料価格の下落等により増益となりましたが、経常利益は為替差損益の影響等により減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前連結会計年度末時点で見込んでいた在外子会社株式の売却損失見込額が、譲渡完了時点における当該子会社の財務状況の想定を上回る改善、インフレ会計の影響等により減少したことから、当該減少額を事業構造改善引当金戻入額として特別利益に計上したこと等により増益となりました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、以下のとおりです。

売上高	158,233百万円	(前年同期比	4.8%減)
営業利益	2,098百万円	(前年同期比	6.8%増)
経常利益	144百万円	(前年同期比	93.0%減)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	335百万円	(前年同期は親会社株主に帰属する 四半期純損失△1,083百万円)	

セグメントの状況は、次のとおりです。

① 紙・板紙

売上高	85,112百万円	(前年同期比	3.7%減)
セグメント利益	2,010百万円	(前年同期比	59.3%増)

紙・板紙事業において、新聞用紙は発行部数及び頁数の減少に伴い需要減退が続いていますが、競争環境の変化に伴う増販により販売数量・売上高ともに前年同期を上回りました。

洋紙（新聞用紙を除く。）は価格改定の浸透により販売単価は上昇したものの、デジタル化の加速によりチラシ・パンフレット用途を中心に需要減退が継続しており、販売数量・売上高ともに前年同期を下回りました。

包装用紙はインバウンドや環境配慮型製品関連の需要増加はあったものの、角底袋を中心に引続き需要が弱く、販売数量・売上高ともに前年同期を下回りました。

板紙・段ボールは国内段ボール需要の低迷が継続しており、輸出版売の一部において回復が見られたものの、販売数量は前年同期並み、売上高は前年同期を下回りました。

これらの結果、紙・板紙事業では、売上高は前年同期を下回ったものの、セグメント利益は前年同期を上回りました。

② ホーム&パーソナルケア

売上高	69,627百万円	(前年同期比	4.5%減)
セグメント損失(△)	△207百万円	(前年同期はセグメント利益121百万円)	

ホーム&パーソナルケア事業において国内事業では、衛生用紙は、物流費・人件費の高騰を背景に価格改定に取り組むとともに、需要が拡大しているソフトパッキティッシュ、長尺トイレットペーパー等の付加価値商品の販売が伸長した結果、販売数量・売上高ともに前年同期を上回りました。紙加工品については、ヘルスケアにおいて夜の介護負担軽減を目指した夜用パンツ商品の拡販や、フェミニンケアにおいて働く女性の生理環境改善を目指した付加価値商品の拡販、フェミニンケア・ベビーケアでの企画品の拡販が貢献しました。また価格改定も浸透し、売上高は前年同期を上回りました。ペットケアは、システムトイレ用猫砂・シート、日本で唯一（注）のパンツタイプの犬用おむつの新商品販売が好調に推移するとともに、既存商品においてもユーザー数の増加により販売が伸長し、販売数量・売上高ともに前年同期を上回りました。これらの結果、売上高は前年同期を上回りました。

（注）サイズ調整可能でお腹まわりにポケット構造ができるパンツ形状おむつとして先行技術調査及びMintel GNPDを用いた当社調べ。（2023年4月）

海外事業では、中国・タイにおいてフェミニンケアの拡販が進みましたが、ベビー用紙おむつは、中国では構造改革の推進過程にあったこと、タイではエコノミー品の価格正とプレミアム品へのウェイトシフトを推進したことで販売数量が減少しました。ブラジルでは流通在庫の圧縮を進めたことにより販売数量が減少しました。また、ブラジルリアル安等による為替換算影響もあり海外事業全体の売上高は前年同期を下回りました。

これらの結果、ホーム&パーソナルケア事業の売上高は前年同期を下回り、セグメント損失となりました。

③ その他

売上高 3,493百万円 (前年同期比 29.3%減)
セグメント利益 279百万円 (前年同期比 50.5%減)

主に機械事業、木材事業及び物流事業であり、木材事業における海外での木材チップの販売減少等により、売上高及びセグメント利益は前年同期を下回りました。

<主要品種別販売数量・金額増減要因>

紙・板紙事業セグメント

品種	数量	金額	動向
新聞用紙	+	+	競争環境の変化に伴う販売増加、発行部数及び頁数減少に伴う需要減退
洋紙	-	-	価格改定の浸透による販売単価アップ、デジタル化の加速による需要減退
包装用紙	-	-	インバウンド・環境配慮型製品の販売伸長、包装需要の減少
板紙・段ボール	→	-	段ボール需要の低迷

ホーム&パーソナルケア事業セグメント (国内)

品種	数量	金額	動向
ファミリーケア (衛生用紙)	+	+	ソフトパックティッシュ、長尺トイレットペーパー等の付加価値商品の販売伸長、価格改定の浸透
ベビーケア	-	+	パンツタイプおむつの価格改定による販売数量減少及び販売単価アップ
ヘルスケア	+	+	夜用パンツや産学連携商品等の高機能・付加価値商品の販売伸長、病院・介護施設への導入拡大、価格改定の浸透
フェミニンケア	+	+	ショーツタイプ、スリムナプキンなどの付加価値商品の販売伸長、吸水ケア企画品の販売増加、価格改定の浸透
ハウスホールドケア (ウェットワイプ)	-	-	アフターコロナ以降の衛生関連商品の需要減少による販売数量減少、トイレクリナーの販売伸長、ベビー用おしりふきの価格改定の浸透
ペットケア	+	+	システムトイレ用及び犬用おむつの新商品の販売が好調に推移、ユーザー数の増加による既存商品の販売伸長

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産、機械装置及び運搬具の減少等により、前連結会計年度末に比べ32,855百万円減少し、853,210百万円となりました。

負債は借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ25,039百万円減少し、611,313百万円となりました。

純資産は為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ7,815百万円減少し、241,897百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.1ポイント上昇し、26.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	113,189	104,302
受取手形、売掛金及び契約資産	115,111	107,154
棚卸資産	112,787	116,193
その他	19,948	13,471
貸倒引当金	△155	△149
流動資産合計	360,882	340,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	95,775	94,319
機械装置及び運搬具（純額）	178,596	168,999
土地	85,093	84,649
その他（純額）	49,243	49,693
有形固定資産合計	408,708	397,661
無形固定資産		
のれん	38,702	38,151
その他	29,856	28,912
無形固定資産合計	68,559	67,064
投資その他の資産	47,879	47,423
固定資産合計	525,147	512,149
繰延資産	36	89
資産合計	886,066	853,210

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,929	76,516
短期借入金	13,767	14,012
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	82,739	92,830
引当金	9,452	3,578
その他	65,813	58,353
流動負債合計	266,702	260,290
固定負債		
社債	20,000	35,000
長期借入金	298,131	266,076
退職給付に係る負債	22,875	22,600
引当金	1,697	1,721
その他	26,945	25,624
固定負債合計	369,649	351,022
負債合計	636,352	611,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,884	53,884
資本剰余金	55,112	55,112
利益剰余金	101,348	100,863
自己株式	△3,205	△3,203
株主資本合計	207,139	206,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,696	4,703
繰延ヘッジ損益	78	△82
為替換算調整勘定	20,874	14,444
退職給付に係る調整累計額	2,931	3,048
その他の包括利益累計額合計	29,580	22,113
非支配株主持分	12,992	13,126
純資産合計	249,713	241,897
負債純資産合計	886,066	853,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	166,263	158,233
売上原価	131,597	123,264
売上総利益	34,665	34,968
販売費及び一般管理費	32,700	32,870
営業利益	1,965	2,098
営業外収益		
受取利息	251	331
受取配当金	194	218
持分法による投資利益	58	196
為替差益	1,050	—
正味貨幣持高に関する利得	129	318
その他	1,035	500
営業外収益合計	2,719	1,564
営業外費用		
支払利息	1,463	1,453
為替差損	—	458
デリバティブ評価損	121	837
その他	1,048	768
営業外費用合計	2,633	3,519
経常利益	2,051	144
特別利益		
固定資産売却益	29	41
投資有価証券売却益	2	10
受取保険金	84	0
事業構造改善引当金戻入額	—	2,712
その他	78	—
特別利益合計	194	2,765
特別損失		
固定資産除売却損	115	62
減損損失	1	0
災害による損失	67	23
固定資産圧縮損	75	—
事業構造改善費用	—	911
その他	0	39
特別損失合計	259	1,037
税金等調整前四半期純利益	1,986	1,872
法人税、住民税及び事業税	988	475
法人税等調整額	1,462	952
法人税等合計	2,451	1,427
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△464	445
非支配株主に帰属する四半期純利益	619	109
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,083	335

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△464	445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△315	△822
繰延ヘッジ損益	85	△170
為替換算調整勘定	5,467	△6,389
退職給付に係る調整額	△33	117
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△170
その他の包括利益合計	5,203	△7,436
四半期包括利益	4,738	△6,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,579	△7,131
非支配株主に係る四半期包括利益	1,159	139

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動に関する注記)

<紙・板紙事業>

該当事項はありません。

<ホーム&パーソナルケア事業>

当第1四半期連結累計期間において、エリエール・インターナショナル・ターキー・キシセル・バクム・ウルンレリ・ウレティムA.S.の全株式の譲渡が完了したため、連結の範囲から除外しています。

<その他事業>

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙・板紙	ホーム& パーソナル ケア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	88,390	72,929	161,319	4,943	166,263	—	166,263
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,103	144	2,247	21,546	23,794	△23,794	—
計	90,494	73,073	163,567	26,490	190,057	△23,794	166,263
セグメント利益	1,262	121	1,383	564	1,948	17	1,965

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、造林事業、機械事業、物流事業、売電事業、ゴルフ場事業及び不動産賃貸事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去に係る調整額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙・板紙	ホーム& パーソナル ケア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	85,112	69,627	154,739	3,493	158,233	—	158,233
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,027	134	2,161	23,260	25,421	△25,421	—
計	87,139	69,761	156,901	26,754	183,655	△25,421	158,233
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,010	△207	1,803	279	2,082	16	2,098

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、造林事業、機械事業、物流事業及びゴルフ場事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去に係る調整額です。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より紙・板紙事業の組織変更を実施し経営管理区分を変更したことに伴い、従来「その他」に含めていた事業の一部を「紙・板紙」セグメントに移管しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	11,392百万円	10,616百万円
のれんの償却額	978	927
負ののれんの償却額	15	15